Vene Investment

VENEZUELA TODAY

２０２１年１月２９日～１月３１日報道　　No.５５５　２０２１年２月１日（月曜）

（写真）El Estimulo　“ベネズエラ国産 Covid-１９治療薬「Carvativir」に汚職の疑い”

２０２１年１月２９日（金曜）

政　治

「Fedecamaras 代表　対話を敵視してはいけない」
「与党国会　教育機関関係者らと協議」
「西政府　グアイド政権の方針転換を期待」
「国連　拘束された人道支援関係者の開放を要求」

経　済

「Chevron　バイデン政権に制裁緩和要請」
「SUDEBAN　ドル建て融資には事前許可が必要」

社　会

「Cota９０５で警察とマフィア・グループが衝突」
「Once Upon a Time　国際映画部門ノミネート」

21 年１月 30～31 日（土・日）

政　治

「Covid-１９治療薬　汚職の可能性濃厚」
「Gedeon Operation の首謀者を更に逮捕
～野党が事件に関与した証拠 近日中に公表～」
「ベネズエラ共産党　マドゥロ政権を非難」
「キューバと制裁対策委員会を発足」

経　済

「PDVSA　民主党系弁護士にロビー活動費支出」

社　会

「２０年 在コロンビアベネズエラ移民２．３%減
～越境のため１，６００ドルを支払い～」

２０２１年１月２９日（金曜）

政　治

「Fedecamaras 代表　対話を敵視してはいけない」

前号「ベネズエラ・トゥデイ No.554」で、与党国会とベネズエラ経団連「Fedecamaras」役員らが協議を行った記事を紹介した。

「Fedecamras」は、ベネズエラで最も大きな産業団体で野党支持系の企業団体。

与党と「Fedecamras」は長年の宿敵で、両者の接近はほとんどなかった。与党関係者から「Fedecamaras」本部を訪問することは２００２年４月に故チャベス元大統領がクーデターを受けて以降、初めてのことだという。

ベネズエラでは野党支持者を中心にマドゥロ政権との交渉に強い抵抗感を持つ人が多く、「Fedecamaras」の与党関係者との協議を好意的に受け取らない意見も多い。

１月２９日　「Fedecamaras」のリカルド・クサノ代表は与党国会との協議について、協議を行った目的は政治的に与党を有利にするためではなく、国を安定させるためだと説明。対話や協議を悪魔視することは、大きな間違いだとの見解を示した。

「対話・協議を悪魔視する声は続いている。これは大きな誤りだ。

政府の役割を実行している政治代表者を Fedecamaras 本部で受け入れたことを理由に Fedecamaras を非難する。

これは労働者が自身の労働条件の改善を求めることを悪魔視するようなものだ。あるいは政治家が自身の自由を得るために交渉することを悪魔視するようなものだ。

我々の目的を理解することはとても重要だ。
我々は政治的にどちらかを有利にするために協議を行ったのではない。我々は憲法に定められている政治・経済・社会が自由の道に回帰するため、交渉と対話を支持している。」
との見解を示した。

また、協議を通じてマドゥロ政権に求めるものとして「特定のテーマでは、Covid-１９問題への対応。ワクチンや衛生プロトコールを協議する。他、ベネズエラ国民に十分に届いていない人道支援を求める。

また、現在の法制度は懲罰に重きを置いており、インセンティブに重きが置かれていないことを説明。インセンティブを重視するよう求めた。他、現在の法制度は複雑すぎるため、インフォーマルセクターが増えると説明。法制度の簡素化を求めた。
これらの仕組みが変われば、ベネズエラ企業の競争力が上がり、外国企業からの投資が増えるようになる。」
と説明した。

他、「マドゥロ政権は、政治よりも経済を重視すると言っている。政治アクターは交渉や対話ができるのだろうか？」との質問について

「我々は政治アクターの交渉が重要だと考えている。
今回の協議の最中にも協議後にも我々のスタンスをはっきりと相手に伝えている。
我々が求めていることは経済分野の回復だけではない。憲法に定められている政治的、経済的、社会的に安定した国を実現することを求めている。

我々は１００％の民主的なベネズエラモデルを求めている。それは中国モデルでもベトナムモデルでもない。それを実現するために交渉を行うのは、我々ではなく、政治アクターだろう。」
と述べた。

「与党国会　教育機関関係者らと協議」

１月２９日　与党国会の対話委員会は、Fedecamaras に続いて教育界との対話を実施した。

現地メディア「La Patilla」によると、大学関係機関の代表者らと国会で協議を行ったという。

実際に協議に参加した人物や協議内容など詳細は確認できておらず、情報通信省のサイトに１月２９日の与党国会の予定として「教育機関代表者らとの協議」と書かれていた。

協議後、ホルヘ・ロドリゲス議長は教育機関との協議の内容について「とても生産的だった」と評価。

「我々はとても満足している。来週から対話委員会は対話を促進するため、全国的な活動を行う。」
と述べた。

Gobierno Bolivariano de Venezuela | Ministerio del Poder Popular para la Comunicación e Información
ZAMORA

MINISTERIO/ENTE: AN - Asamblea Nacional NUMERO DE CONVOCATORIA: 114163
DESCRIPCION: Reunión de la Comisión de Diálogo, Reconciliación y Paz con rectores y rectoras de universidades
DIRECCION: Palacio Federal Legislativo. Estado: Distrito Capital. Ciudad: Caracas. Municipio: Libertador.
FECHA DE LA CONVOCATORIA: 29/01/2021
HORA DE LA ACTIVIDAD: 11:30:00 AM
CONVOCANTE: AN - Asamblea Nacional
VOCERO: Jorge Rodríguez, César Trompiz
CARGO DEL VOCERO: Presidente de la Asamblea Nacional y Presidente de la Comisión de Diálogo, Reconciliación y Paz. Ministro del Poder Popular para la Educación Universitaria
ESTATUS: Confirmada
CONTACTO(S): - Pedro Ibañez [0416-6210216]
OBSERVACION(S): REQUIERE LISTADO DE MEDIOS

（写真）ベネズエラ情報通信省
“与党国会の対話委員会　教育機関代表らと協議”

「西政府　グアイド政権の方針転換を期待」

与党が対話を促進し、経済界・教育界との対話を進める一方、グアイド政権は今後の方針について決めかねている。

この状況について、スペインのアランチャ・ゴンサレス外相は、フランス紙「Le Journal du Dimanche」でグアイド政権の方針に懸念を表明した。

ゴンサレス外相は、米国のブリンケン新外相がベネズエラ問題について述べた「米国がこの２年間歩んできた道は我々が望んだ結果を出すことが出来なかった」という言葉を引用。

ゴンサレス外相も、ブリンケン外相と同じ意見だと言及し、「ベネズエラの今後に望ましい結果をもたらすため、我々は戦略を変える必要がある。」と主張した。

また、グアイド政権に対して
「野党は現在の戦略を修正する必要がある。グアイド氏は、現在の支持を野党を統一させるために使用するべきだろう。」
との見解を示した。

「国連　拘束された人道支援関係者の開放を要求」

先日、英国政府がメディアを操作する目的で、ベネズエラの国内メディアや非政府系団体に資金援助していたとの疑惑が生じた（「ベネズエラ・トゥデイ No.546」）。

この報道が浮上したことで、マドゥロ政権はメディアや非政府系団体などの捜査を実施。その中で、エイズ感染予防などの活動を行っている「Azul Positivo」の関係者５名を拘束した。

１月２９日　本件について国連は声明文を公表。
マドゥロ政権に対して、速やかに人道団体の関係者を開放するよう要請した。

「国連は、ベネズエラの人道団体関係者５名の拘束について強く懸念している。現地政府関係者と協議を行っており、彼らの即時解放を求めている。」
とした。

どうやら「Azul Positivo」は、国連と関係の強い組織のようだ。

経　済

「Chevron　バイデン政権に制裁緩和要請」

バイデン政権発足を受けて、多くのエネルギー企業がベネズエラの石油制裁緩和を求めている。

「Bloomberg」は、米国の「Chevron」がバイデン政権の国務省に対して面談を求めたと報じた。

「Bloomberg」によると、「Chevron」は国務省に対して、ベネズエラ産原油輸入の解禁を求めるという。

インドの「Reliance」、スペインの「Repsol」など、米国以外の企業が PDVSA と取引を再開するためには、米国が制裁の制限範囲に対する考え方を変えれば良いだけであり、制裁を修正する必要はない。

しかし、米国企業が PDVSA から原油・石油製品を購入することは制裁で明確に禁止されている。

「Chevron」が PDVSA と取引を再開するためには既存の制裁を修正する必要があり、「Reliance」や「Repsol」などの取引再開よりもハードルが高いだろう。

「SUDEBAN　外貨建て融資には事前許可が必要」

前号「ベネズエラ・トゥデイ No.554」で、ベネズエラの現地金融機関がドル口座保有者に対して、デビッドカードを発行したとの記事を紹介した。

ただし、「銀行監督局（SUDEBAN）」は「SUDEBAN の事前の許可を得ることなく、顧客にドル建てのカードを提供してはいけない」との通知を公表した。

なお、顧客にデビッドカードを発行した銀行が SUDEBAN の許可を得ていたかは不明だ。

この件に関連して、SUDEBAN は新たに通達を発表。
「外貨建ての融資は、事前に SUDEBAN の許可を得る必要がある」
と発表した。

裏を返せば、SUDEBAN の事前の許可があれば、銀行は外貨建ての融資をすることが可能と理解できる。

SUDEBAN が外貨建ての融資を禁止するために、この通達を発表したのか、事前の承認の元で外貨建て融資を許可するためにこの通達を発表したのかは現時点では不明だ。

社　会

「Cota９０５で警察とマフィア・グループが衝突」

１月２８日から再びカラカスの「Cota９０５」周辺でマフィア・グループと警察部隊との衝突が起きている。

ラモン・カマチョ記者によると、問題が起きた原因は、アパートの立ち退き問題だったという。

アパートに立てこもっていたのはAli Hayekと言う人物で、アパートの所有者は警察職員らとAli Hayek氏に立ち退きを求めたという。

交渉は１時間ほど続いたが、合意に至らず、警察官が建物の入口に踏み込んだところで「Cota９０５」地域を守っているマフィア・グループの「El Coqui」のグループを発見、銃撃戦が始まったという。

また、警察は「特別機動部隊（Faez）」の応援を呼び、衝突は激化し、警察官１名が負傷し病院へ搬送、「El Ciqui」の構成員１名が死亡、民間人２名が負傷したという。

（写真）ラモン・カマチョ記者ツイッターより
“「El Coqui」構成員らの写真”

「Once Upon a Time　国際映画部門ノミネート」

米国ハリウッドのオスカー賞の「国際映画部門」に、ベネズエラからはドキュメンタリー映画「Once Upon a time in Venezuela」がノミネートされた。

筆者も見たことはないが、「Once Upon a time in Venezuela」はスリア州マラカイボを舞台にした映画で気候変動や政治闘争などを理由に苦しむ人々の生活が描かれているという。

なお、今年は Covid-１９の影響で世界の映画館が閉鎖していたため、例外的にノミネートする条件として、映画館での上映を求めていないという。

（写真）「Once Upon a time in Venezuela」より抜粋

２０２１年１月３０日、３１日（土曜・日曜）

政　治

「Covid-１９治療薬　汚職の可能性濃厚」

ベネズエラの汚職などのテーマを専門に扱うメディア「Armando.Info」は、マドゥロ大統領が「ホセ・グレゴリオの一滴」と呼んでいる Covid-１９の治療薬「Carvativir」に関して汚職の可能性が高いとの記事を公表した。

なお、過去「ホセ・グレゴリオの一滴（Carvativir)」をCovid-１９ワクチンと紹介したが、ワクチン（予防）ではなく、正しくは治療薬（感染後の薬）だった。

「Armando.Info」によると、「Carvativir」を開発した企業は公式には「Laboratorio Farmacologico de Venezuela（Labfarven）」という会社とされているが、この会社は以前「Miami Customs & Accessories」という会社で自動車の付属品などを販売する会社だったという。

また、この会社の代表で「Carvativir」の開発者でもあるRaúl Antonio Ojeda Rondón 氏と Jheam Frank Campos Alvarado 氏は、医薬品や医療関連の学歴はもっていないという。

この２名はアンソアテギ州出身で与党関係者であると報道。

Raúl Antonio Ojeda Rondón 氏は、２００８年～１７年まで PDVSA で働いていた。また、PDVSA の「CVP」の副社長を務めていた際に汚職の容疑で拘束されたことがあると報じられている。他、アイサミ石油相と関係の深い人物で、１７年に米国政府に Raúl Antonio Ojeda Rondón 氏の送金が止められたことがある。
また、制憲議会の「国家外交・戦略委員会」の代表を務めていたという。

Jheam Frank Campos Alvarado 氏は、アンソアテギ州にある３つの企業「Constructora Eyeife」「Astillero」「Reconstrucciones del Alba」の社長でもあるという。

また、「Servicios y Mantenimiento Conrapa」という会社で PDVSA と多くの契約を締結していた。

つまり、「Carvativir」を開発した企業の代表は、マドゥロ政権の関係者ということになる。

何らかの汚職取引が存在している可能性は高いだろうし、「Carvativir」の効果もより疑わしくなるだろう。

「Gedeon Operation の首謀者を更に逮捕 ～野党が事件に関与した証拠を近日中に公表～」

１月３１日　マドゥロ大統領は、２０年５月に起きたマドゥロ政権倒壊計画「Gedeon Operetion」の首謀者の一人を拘束したと発表した。

拘束されたのは、元ベネズエラ軍人のファン・グティエレス・アラングレン氏。

マドゥロ大統領は、アラングレン氏について、コロンビアのドゥケ政権と「大衆意志党（VP）」レオポルド・ロペス党首、ヘスス・シルバ元在ベネズエラ・スペイン代表大使らの協力者だと主張。

明らかにコロンビアが事件に関与しながら、コロンビア検察もコロンビア議会も事件の真相について全く調査を行わないと訴えた。

同日、ホルヘ・ロドリゲス国会議長は、記者会見を実施。

「大衆意志党（VP）」のレオポルド・ロペス党首とファン・グアイド議長が事件に関与した証拠を持っていると説明した。

また、ロペス党首は、５００万ドル超の資金を受け取り、在ベネズエラ・スペイン大使公邸で「Gedeon Operetion」を企てたと主張。近日中に彼らのテロ計画を白日の元にさらすと訴えた。

「ベネズエラ共産党　マドゥロ政権を非難」

グアイド政権の分裂と比べるとマドゥロ政権側の分裂は目立っていないが、与党グループ「グラン・ポロ・パトリオティコ（愛国大同盟）」でも分裂が見られている。

与党の分裂が野党ほど目立たない理由は、与党グループの場合「ベネズエラ社会主義統一党（PSUV）」が他の同盟政党と比べて極端に大きく、その他の同盟政党が非難をしても彼らを支持するグループがほとんどいないので影響が小さく、注目度も低いということだろう。

その「グラン・ポロ・パトリオティコ」の中で PSUV の次に大きな「ベネズエラ共産党（PCV）」が記者会見を実施。マドゥロ政権を非難した。

「国会議員選挙で PCV の党員が出馬することを強引に妨害した。また、PCV 候補のテレビでの宣伝活動を止めた。マドゥロは PSUV か野党政党（選挙に参加した穏健野党）に投票するよう呼びかけた。

現在、マドゥロ大統領は今までよりも攻撃的で脅迫的になっている。

仮に共産党員が攻撃されたとすれば、その責任はマドゥロ政権にある。」
と訴えた。

「キューバと制裁対策委員会を発足」

現在、キューバのリカルド・カブリサス副首相らキューバの政府関係者らがベネズエラを訪問している。

１月３０日　カブリサス副首相はデルシー・ロドリゲス副大統領と面談し、米国の制裁に対峙するための研究機関を組織することで合意した。

なお、前日の１月２９日にカブリサス副首相は、ベネズエラのリカルド・メネンデス企画相と面談。今後の共同方針、医療・科学技術・教育分野・防衛などのテーマについて合意したという。

経　済

「PDVSA　民主党系弁護士にロビー活動費を支出」

１月３０日　AP 通信は、２０１７年３月にマドゥロ政権が PDVSA への制裁を回避するため、米国民主党系の弁護士 Marcia Wiss 氏にロビー活動費を支出していたと報じた。

AP 通信によると、ロビー活動費を支払ったのは、「米国にある PDVSA の関係者」と書かれており、「CITGO」か「PDV USA」などと思われる。支払金額は６００万ドルだという。

この支払いを受けて、Wiss 弁護士がどのようなサービスを行ったのかは分かっていない。

なお、本件と似た話は、昨年も報じられていた。

米国共和党の David Rivera 元議員が「Interamerican Consulting」という Rivera 元議員が社長を務める会社で PDVSA の米国会社「PDV USA」から１，５００万ドルのロビー活動費を受け取ったというもの（「ベネズエラ・トゥデイ No.446」「No.451」）。

「Interamerican Consulting」が１，５００万ドルを受け取ったのは、Wiss 弁護士が６００万ドルを受け取ったのと同じ１７年３月だった。

Rivera 元議員はフロリダ州選出の元議員でキューバ系移民。マドゥロ政権と敵対する急先鋒のマルコ・ルビオ議員と関係の深い人物として知られている。

Rivera 元議員自身は「PDV USA」から受け取った資金は「大衆意志党（VP)」のロペス党首に流れて、１７年の抗議行動などで使用されたと説明しており、米国政府も了解していたと犯罪性を否定している。

本件については、問題が発覚してから８カ月以上が経過しているが、米国では捜査は進んでいないと思われる（少なくとも筆者は確認できていない)。

社　会

「２０年　在コロンビアベネズエラ移民２．３%減 ～越境のため１，６００ドルを支払い～」

「コロンビア移民局」は、２０２０年１２月末時点のベネズエラ移民数について、１７２万９，５３７人になったと発表した。

うち、７６万２，０００人（４４%）は、正規のプロセスを経てコロンビアに滞在しており、残りの９６．６万人（５６%）は正式な手続きを経ることなくコロンビアに滞在しているという。

また、男女比では全体の４９%は女性、男性は５１%だという。

他、ベネズエラ移民が居住している地域では、首都のボゴタが最も多く、３３万７，５９４名。
次にバランキージャが９万６，３６０名。
ベネズエラとコロンビアの国境の町ククタが９万６，１３３名。
メデジンが８万９，１８７名。
カリが５万９，３４３名だという。

２０１９年１２月末の時点では、約１７７万人がいたため、１９年より２．３５%減ったことになる。

Covid-１９の感染拡大防止のため、国境を閉鎖したことでベネズエラ移民の流入が減少。
また、経済低迷によりコロンビアで職を失ったベネズエラ人などが帰国したことが理由と思われる。

なお、前述の通りコロンビア政府はベネズエラとの国境を封鎖しているが、それでもベネズエラ人が非正規なルートで流入している。

「コロンビア移民局」は、ベネズエラ人の越境を斡旋している人物を拘束。越境させたベネズエラ人から受け取った金額が書かれているノートが見つかったという。

このノートによると、コロンビアへ越境させる見返りに最大で１，６００ドルを受け取っていたという。

以上